生徒・教職員に新型コロナウイルス感染者が発生した場合の学校の対応

金沢高等学校では、生徒・教職員に新型コロナウイルス感染者が発生した場合の対応について、下記のように定めております。

生徒・教職員が体調不良により PCR 検査を実施

同居者などが感染し、本人が濃厚接触者に特定され、PCR 検査を実施

PCR 検査を受け、結果が判明するまでの間、本人は自宅待機（出席停止）

陽性

学校の動き

①生徒が登校している間に陽性者が確認された場合、感染拡大防止を最優先に、原則速やかに一斉下校とする。
②保健所の指示により、校内の消毒措置と広範囲での PCR 検査実施を推進する。
③新型コロナウイルス対策委員会を開催し、関係機関等と相談のうえ、必要に応じて全部又は一部の臨時休校（学級閉鎖・学年閉鎖・学校閉鎖）の対策を講じる。
④本人や家族からの状況を確認する。
⑤他の生徒・教職員の健康を確認する。
⑥感染者の発生や臨時休校の実施については、文書やメール配信でお知らせする。

生徒の動き

①保健所の指示に従い、学校へ連絡する。
②本人または、家族が完全に治癒するまで、出席停止とする。

「濃厚接触者」とは・・
発症日（無症状の場合は陽性確定日）2日前より、感染者と同居あるいは長時間の接触、または、手で触れることができる距離（1m程度以内）で必要な感染予防策なしで15分以上接触のあった者。
※同居の家族は、基本的に「濃厚接触者」となる。
※保健所が特定する。

陰性

①体調不良による PCR 検査の結果、陰性の場合は、症状がなくなり次第、登校可能とする。
②濃厚接触者で PCR 検査の結果、陰性の場合は、陽性者の最終接触日の翌日から起算して原則2週間は自宅待機（出席停止）とする。
不要不急の外出を控える。
③引き続きの感染症防止対策や健康管理に留意する。（毎日の検温・マスク着用など）

その他
感染された方やその家族、医療関係者等に対する心ない言葉や SNS への書き込みなど、差別や偏見、いじめを決して行わないよう皆様のご理解とご協力をお願いします。